

地域とともにある学校づくりの推進

27年度予算額(案) 119百万円(前年度予算額 160百万円)
別に、「学校を核とした地域力強化プラン」分 170百万円※1

1. 要求要旨

※1 コミュニティ・スクール導入等促進事業、地域提案型の学校を核とした地域魅力化事業は「学校を核とした地域力強化プラン」として実施。

保護者や地域住民の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」の推進等により、社会総掛かりで教育再生を実行し、子供や地域等が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みづくり等を推進するとともに、地域コミュニティの活性化等を図る。

2. 事業内容

コミュニティ・スクール導入等促進事業

67億円の内数(157百万円) 補助率:国 1/3 ※2

地域住民等が学校運営に参画するコミュニティ・スクールについて、未導入地域への支援の拡充や学校支援等の取組との一体的な推進等により、一層の拡大・充実を図る。

導入の促進

- ・コミュニティ・スクール導入を目指す地域における組織や運営体制づくり
- ・300市区町村

取組の充実

- ・コミュニティ・スクール導入後における運営体制づくり(CSディレクター配置を含む)
- ・150市区町村

研修の充実

- ・学校運営協議会委員の研修等への支援
- ・都道府県・政令市・中核市:110箇所

※2 補助については、都道府県の判断により、間接補助とすることも可能。その場合、都道府県、市区町村が1/3ずつ負担。

地域提案型の学校を核とした地域魅力化事業

67億円の内数(13百万円) 補助率:国 1/3

学校を核とした地域の魅力を創造する取組として、地域が提案する創意工夫のある独自で多様な取組を支援する。(9市区町村)

コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)の派遣等による普及・啓発

22百万円

- ・実践経験のある元校長や地域住民などをCSマイスターとして派遣
- ・地域とともにある学校づくり推進協議会(8会場) など



首長部局等との協働による新たな学校モデルの構築事業

29百万円

地域コミュニティの衰退や子供の問題行動等、学校・地域の差し迫った社会的・地域的課題に対し、首長部局や関係機関等との協働体制を確立し、課題解決に取り組む新たな学校モデルを構築する。(12市区町村)

自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究等

59百万円

地域とともにある学校づくりの効果的な推進のために、校長がリーダーシップを発揮するための学校裁量権の拡大、校長や教職員等のマネジメント力向上、実効性ある学校評価システムの構築に関する調査研究を実施する。
(研究費:14市区町村、2大学等研究機関) (スクールアナリストの配置:7市区町村)

- ・教育改革に結びつく学校評価システム構築事業
- ・学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究
- ・学校の総合力を高めるためのマネジメント力強化研修 等



コミュニティ・スクール導入等促進事業

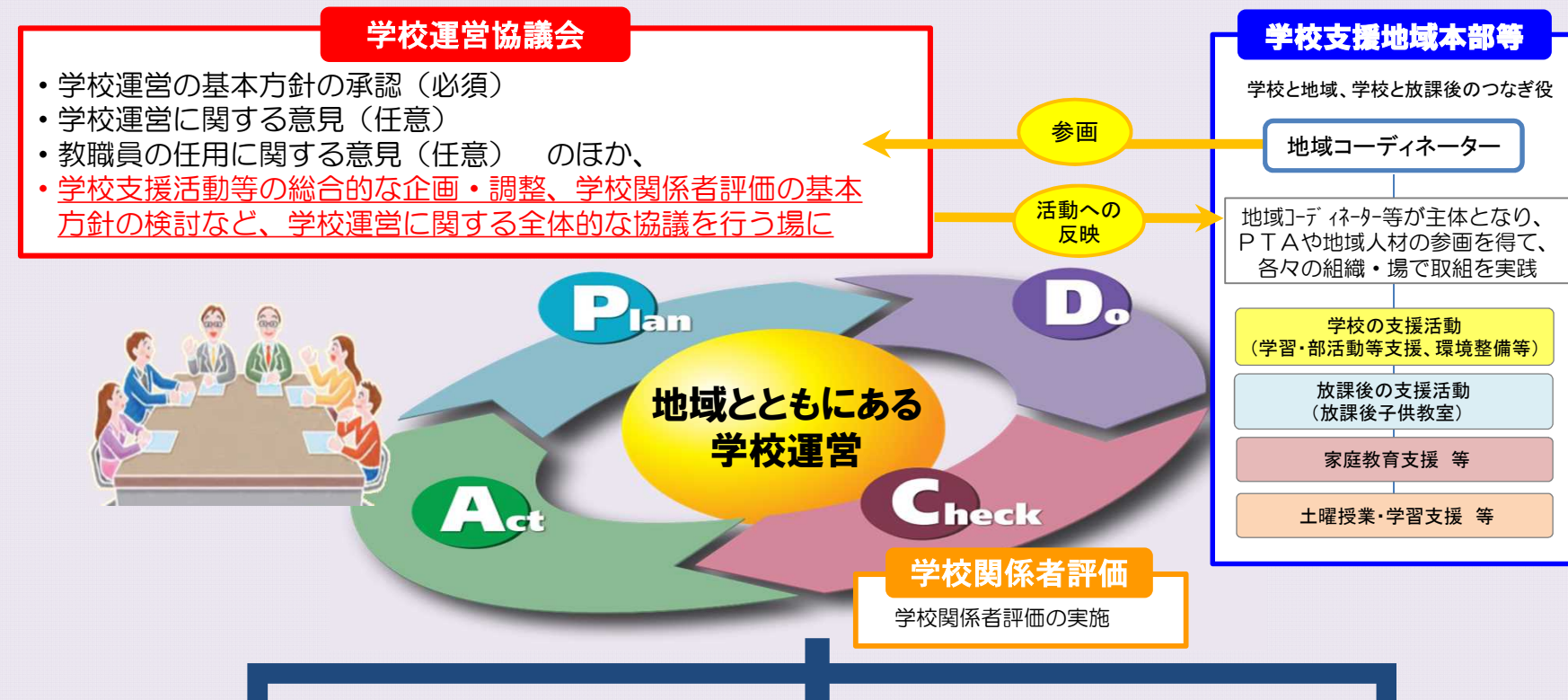
平成27年度予定額 157百万円(13百万円)

※学校を核とした地域力強化プランの1メニュー。

学校運営協議会の機能と、学校支援や学校関係者評価等の機能を一体的に推進することで、学校運営の改善を果たすPDCAサイクルを確立

補助率:国 1/3

※1



導入の促進

- コミュニティ・スクール導入を目指す地域における組織や運営体制づくり
- 300市区町村

※別途、教員・事務職員の加配措置あり

取組の充実

- コミュニティ・スクール導入後における運営体制づくり（CSディレクター※2配置を含む）
- 150市区町村

研修の充実

- 学校運営協議会委員の研修等への支援
- 都道府県・政令市・中核市：110箇所

※1 補助については、都道府県の判断により、間接補助とすることも可能。その場合、都道府県、市区町村が1/3ずつ負担。

※2 CSディレクター：コミュニティ・スクールの運営や学校種間の調整、分野横断的な活動の総合調整など統括的な立場で調整等を行う地域人材。

地域提案型の学校を核とした地域魅力化事業

平成27年度予定額
13百万円(新規)

※学校を核とした地域力強化プランの1メニュー。
※補助については、都道府県の判断により、
間接補助とすることも可能。その場合、都道
府県、市区町村が1/3ずつ負担。

予算不足
人手不足
硬直的予算



子供たちのために地域の特色や資源を生かした取組をしたいけど、一定程度の予算が必要だし、既存の事業では実現が難しいな…

事業内容

これまでの事業では実現できなかったような地域提案による創意工夫ある多様な取組を支援し、学校を核とした地域の魅力を創造する取組の実現を図る。

補助事業者

都道府県・市区町村(50市区町村分を補助)

補助率

1/3

柔軟な使い途
アイデアの実現
地域の活性化



地域独自のアイデアを、学校だけでなく地域住民や子供たちが一緒になって形にすることで、学校を中心として地域全体が活性化！！

地域独自の
提案を形に

提案例① 地域独自の学習プログラムの推進

- 総合的な学習の時間等を活用した地域を題材とした学習プログラム(例:地域創造学)等を地域住民や専門家等と連携しつつ推進することにより、子供たちの地域への愛着を高めるとともに、学校を中心として地域全体の教育への当事者意識の醸成を図る。

→ 地域の魅力を再発見するとともに、一層の魅力化を図るための地域の在り方を考えること等を通じて、受動的な学びから主体的な学びへ。

提案例② 山村等留学の促進

- 当該地域外からの子供の長期受け入れにより、地域の資源を活用し、地域全体を教材とした様々な体験活動や地域住民等との協働を通して、子供たちだけでなく、受け入れる地域側も、活動を企画・立案等を行うなど、双方向的な成長を図る。

→ 当該地域外からの刺激を取り込み、地域全体が活性化されるだけでなく、留学生が当該地域の全国への発信役に。

提案例③ 民間と連携した公営塾の設立

- 中山間地域や離島等において、地域の空き施設(空き家や学校の空き教室)等を利用して公営塾を設立し、地域の教員OBや民間の塾講師等と連携し、地域全体を巻き込んで子供たちの学力等の向上やキャリア教育の実践を行う。

→ 学校と民間等が連携した学習のみならず、キャリア教育等も提供することにより、新たな学びの場が地域全体の協働の拠点に。

提案例④ 子供たちの提案するまちおこし策の実現

- 子供たち自らが自由な発想に基づき、地域活性化に向けた企画・立案(例:ソーシャルビジネス、祭り、商品開発等)を行い、それらを地域の大人たちが実際に実現することにより、子供たちの自己有用感等をはぐくむとともに、地域の担い手としての力を育成する。

→ 子供たちによる地域活性化方策の企画・立案を地域が一体となって実現し、子供たちを地域の担い手へ。

提案例◎ この他にも、様々な提案の実現が可能！！

魅力ある
学校



未来を創る
教育



地域への
愛着・誇り



地域の強
みの発信



地域の
つながり



住み続け
たいまち



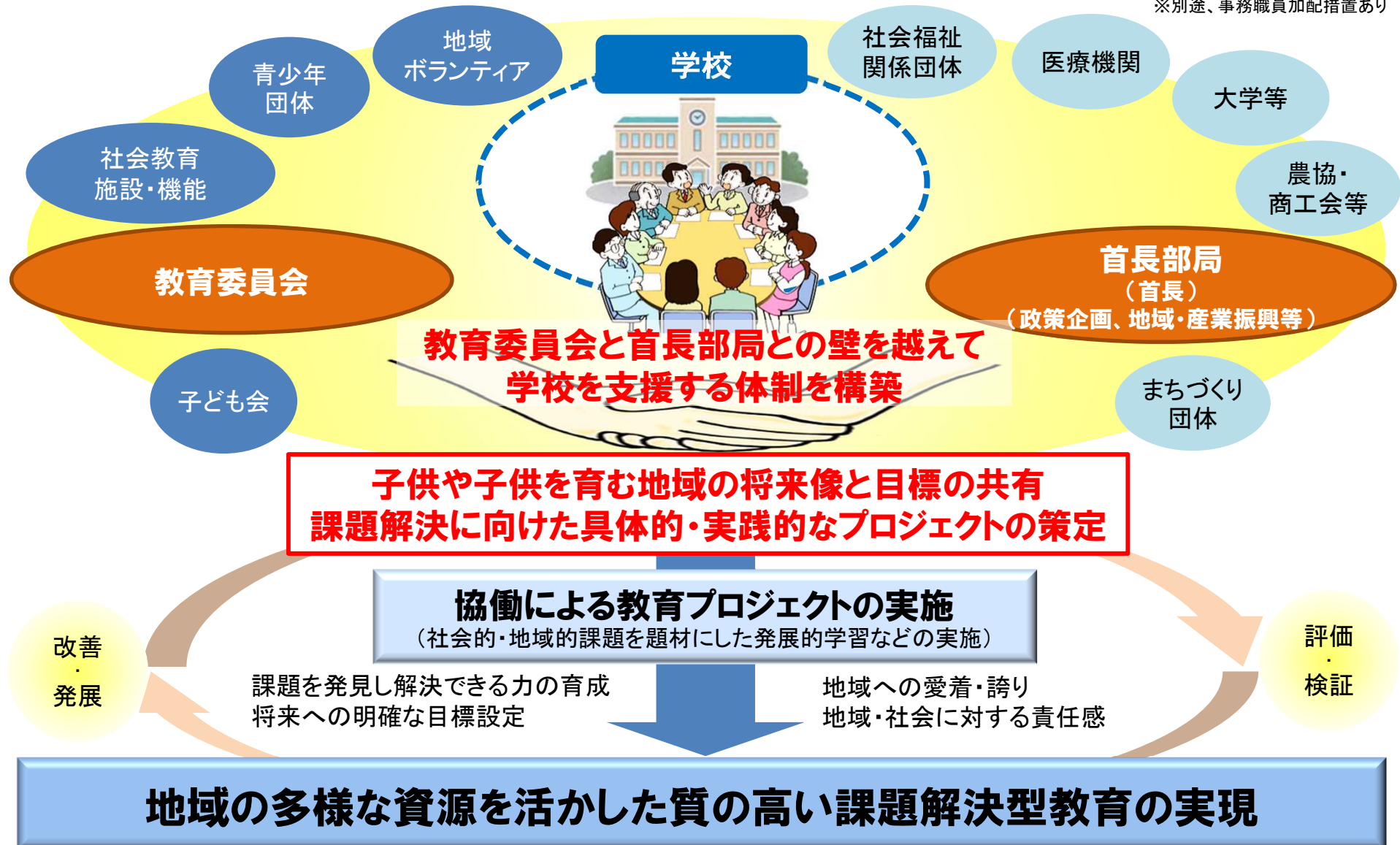
まちの
活性化

首長部局等との協働による新たな学校モデルの構築事業

平成27年度予定額
29百万円(新規)

地域コミュニティの衰退や子供の問題行動等、学校・地域の差し迫った社会的・地域的な課題に対し、首長部局や関係機関等との協働体制を確立し、課題解決に向けて取り組む新たな学校モデルを構築・発信

※別途、事務職員加配措置あり



自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究等 平成27年度予定額 59百万円(71百万円)

地域とともにある学校づくりの効果的な推進のために、校長がリーダーシップを発揮するための学校裁量権の拡大、校長や教職員等のマネジメント力向上、実効性ある学校評価システムの構築に関する調査研究

- 教育改革に結びつく学校評価システム構築事業
- 学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究
- 学校の総合力を高めるためのマネジメント力強化研修 等



学校評価システム構築事業

学校評価結果等の分析を踏まえた学校設置者の教育施策・戦略の策定・実行を支援
⇒学校設置者における課題のある学校、改革に意欲的に取り組む学校等への支援に反映

教育改革の施策・戦略、予算等への反映

学力や問題行動等のデータ等も含め、専門的な見地から分析し助言

スクールアナリスト



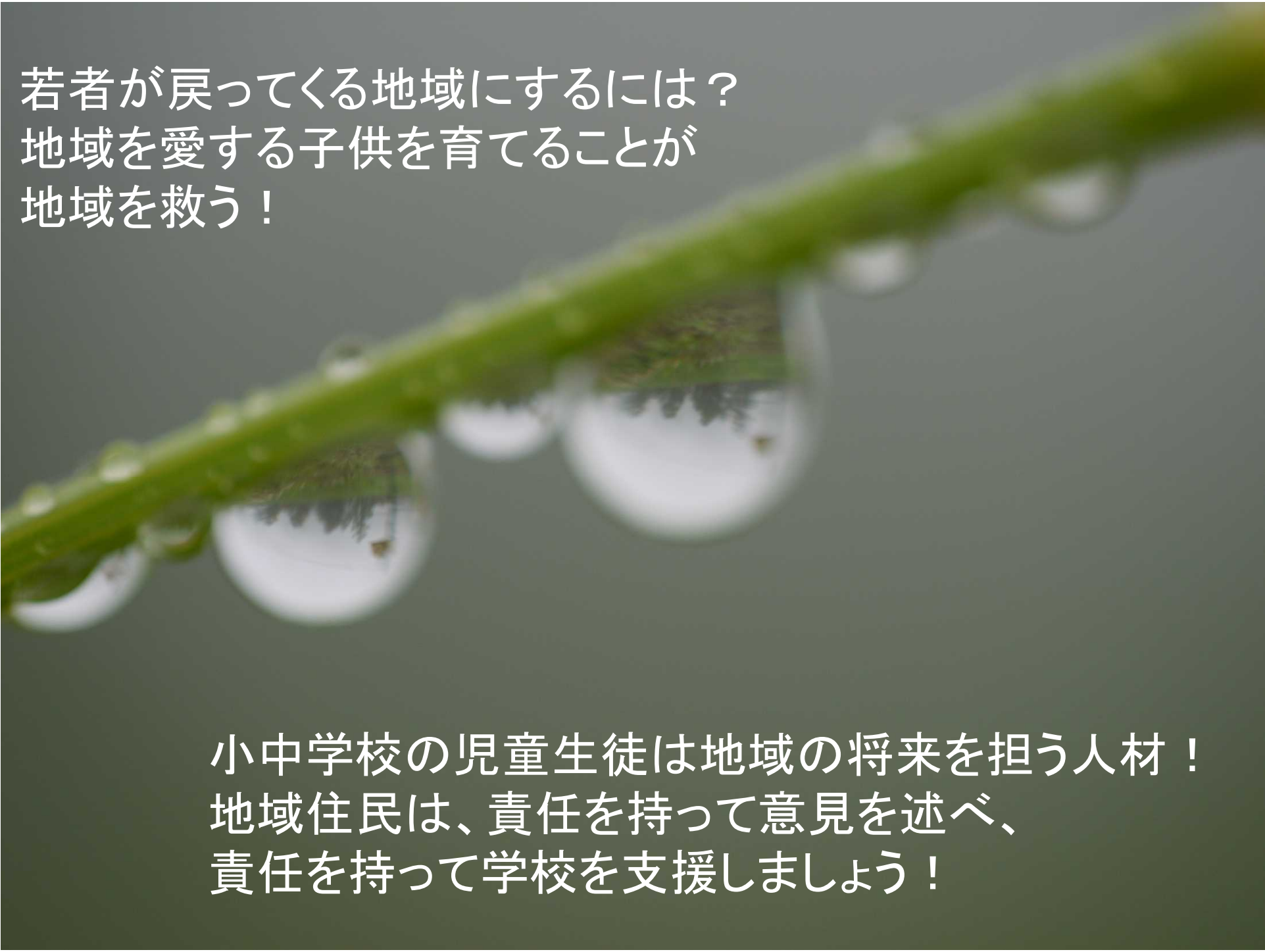
域内学校の評価結果等の分析

評価結果の報告

予算・人事等の支援
改善への指導助言

- 自己評価
- 学校関係者評価
(保護者、地域住民等)





若者が戻ってくる地域にするには？
地域を愛する子供を育てることが
地域を救う！

小中学校の児童生徒は地域の将来を担う人材！
地域住民は、責任を持って意見を述べ、
責任を持って学校を支援しましょう！